

令和 6 年度

姫路市の
予算のしくみ



令和 6 年 3 月
姫路市財政課

目次

基礎知識～予算ってなに？ P1

令和6年度予算編成のポイント P5

歳入 P6

歳出 P10

基金と市債 P15

資料編 P17

全国の中核市と比較してみた。



姫路市イメージキャラクター **しろまるしめ**

姫路城（白鷺城）を象徴する真っ白な肌。その名の通り、白くて丸くてもちもちしています。姫路城のボウシをかぶっています。そして姫路で最も盛り上がるのは春、お花見。ということで...桜の髪飾りを付けたお洒落さんです。柔軟で優しい性格。とっても可愛い女の子です。姫路特有のほっこりした温かさを表しています。

基礎知識 ～予算ってなに？～

Q 予算って何ですか？

A 予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。

新しい年度が始まる前に、1年間（4月から翌年3月まで）に行うべき事業の内容などを検討し、市に入る収入と行政サービスにかかる支出を見積もります。姫路市に入ってくるお金のことを「歳入」、使うお金のことを「歳出」と呼んでいます。姫路市の予算は、一般会計・特別会計・企業会計の3つに分類されます。

Q 予算はどうやって決まるの？

A 市長が予算案を作り市議会へ提出し、市議会の審議と議決によって予算が成立します。予算編成の主な流れは次のとおりです。

翌年度の予算を作るための方針を策定します。（～9月）

市役所の各部署が、市民の意見や地域の状況などを踏まえ、予算を見積もります。（10月）

各部署から出された案について、市政方針や事業の緊急性・優先度などを検討し予算案をまとめます。（10月下旬～2月上旬）

予算案を議会へ提出し、議会の審議・議決を経て、予算が成立します。（2月～3月）

Q 予定外のお金が必要になったときは？

A 予定外の支出に必要な予算を補正予算として見積もり、市議会へ提出します。

社会情勢の変化等により当初見積もった経費に見直しが必要になった場合には、変更する予算案をつくり、市議会へ提出します。最初に決める一年間の予算を「当初予算」、年度の途中に変更した予算を「補正予算」といいます。

Q 令和6年度の姫路市の予算は？

A 一般会計、特別会計、公営企業会計の当初予算の総額は**4,086億400万円**で、前年度と比較すると176億6,600万円、4.5%の増で、過去最大の規模となっています。

一般会計
2,361億円

教育や福祉、公共施設の整備、市役所の運営など、市民の皆さんに身近なものに使われる予算です。皆さんが収めた市税は一般会計に使われています。

特別会計
1,134億7,400万円

市の行っている事業のうち、特定の目的や収入があるものについては、一般会計と分けて「特別会計」とし、事業ごとの収支を明確にしています。姫路市には国民健康保険や介護保険など7つの特別会計があります。

企業会計
590億3,000万円

「公営企業」として一般会計から独立し、民間の企業と同じ会計方法で事業ごとに収益をあげて運営しています。水道事業、下水道事業の2つの企業会計があります。
※都市開発整備事業会計は令和5年度をもって廃止

※予算額は100万円単位で四捨五入しています。

◆令和6年度当初予算総額及び前年度比

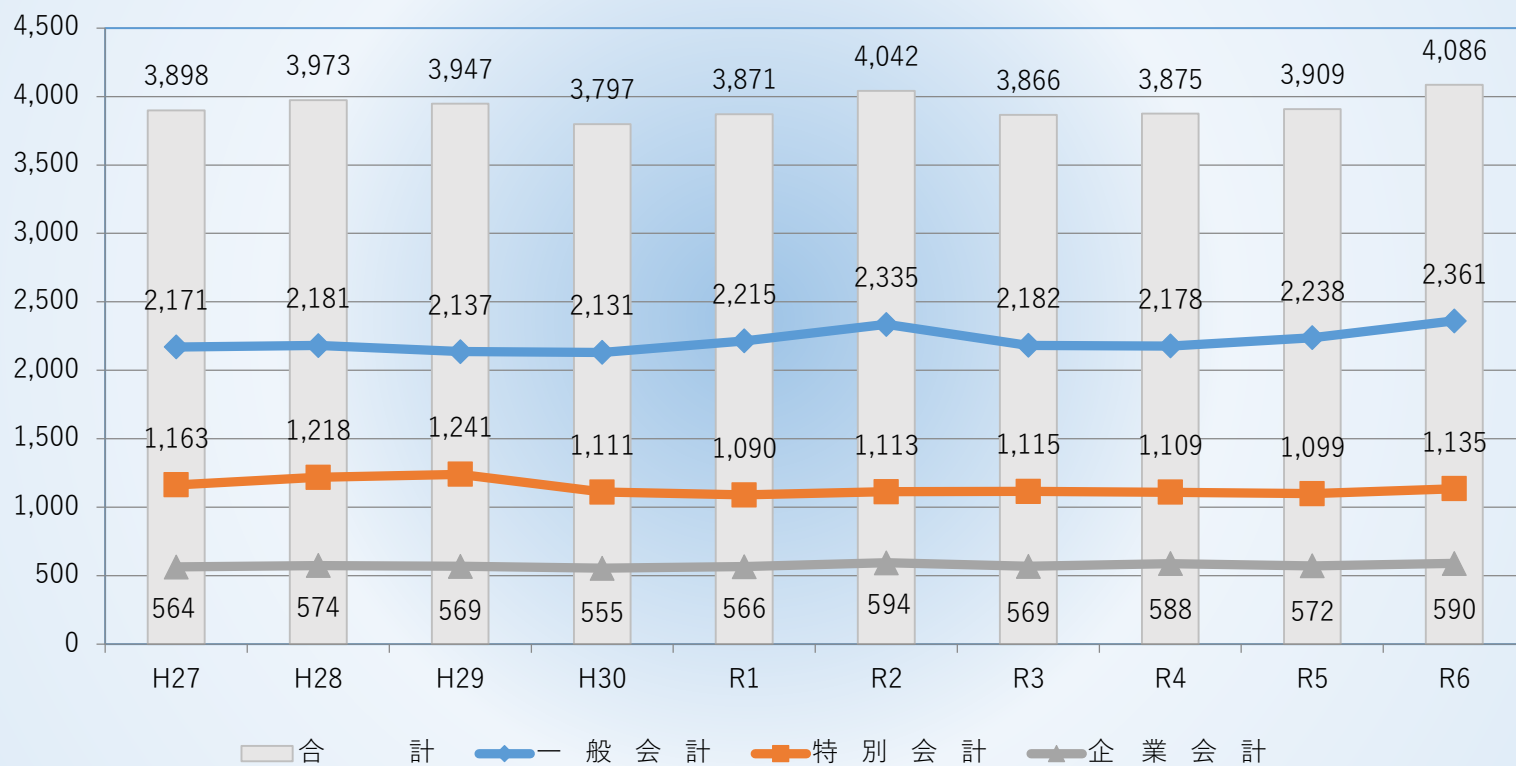
会計名	6年度予算	5年度予算	増減	伸率
一般会計	2,361億円	2,238億円	123億円	5.5%

特別会計	会計名	6年度予算	5年度予算	増減	伸率
	卸売市場事業	25億3,100万円	16億8,200万円	8億4,900万円	50.5%
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1億4,200万円	1億3,700万円	500万円	4.2%
	国民健康保険事業	520億5,200万円	521億700万円	△5,500万円	△0.1%
	介護保険事業	484億300万円	462億9,700万円	21億600万円	4.5%
	後期高齢者医療事業	95億5,200万円	88億4,100万円	7億1,100万円	8.0%
	奨学学術振興事業	3,800万円	3,900万円	△100万円	△1.3%
	財政健全化調整	7億5,600万円	7億6,100万円	△500万円	△0.7%
	合計	1,134億7,400万円	1,098億6,400万円	36億1,000万円	3.3%

企業会計	会計名	6年度予算	5年度予算	増減	伸率
	水道事業	202億4,900万円	189億2,300万円	13億2,600万円	7.0%
	都市開発整備事業	-	1億400万円	△1億400万円	皆減
	下水道事業	387億8,100万円	382億4,700万円	5億3,400万円	1.4%
合計	590億3,000万円	572億7,400万円	17億5,600万円	3.1%	

参考 姫路市の予算額の推移

(単位：億円)



令和6年度予算編成のポイント

総合計画の目指す都市像「ともに生き ともに輝く にぎわい交流拠点都市 姫路」の実現のため、「活力」「命」「暮らし」「一生」の4つのメインテーマのもと、積極的に事業を展開するとともに、そのうち4つの重点取組に対し、予算の集中化・重点化を図りました。

4つのメインテーマ

「活力」ある姫路を創造する市政

4つの重点取組

- 未来を拓く「ひとづくり改革」
- 生活の質を高める「デジタル改革」
- 成長を促す「グリーン改革」
- にぎわいを創出する「まちづくり改革」

「命」をたいせつにする市政

- 安全安心なまちづくりの推進
- 誰もがいきいきとくらす社会の実現

「暮らし」を豊かにする市政

- 観光資源の充実と魅力発信
- 地域産業の活力増進
- 手柄山中央公園の再整備
- 芸術や文化の振興

「一生」に寄り添う市政

- 市民協働の地域づくり
- 都市基盤の強化
- 公共交通の利便性向上

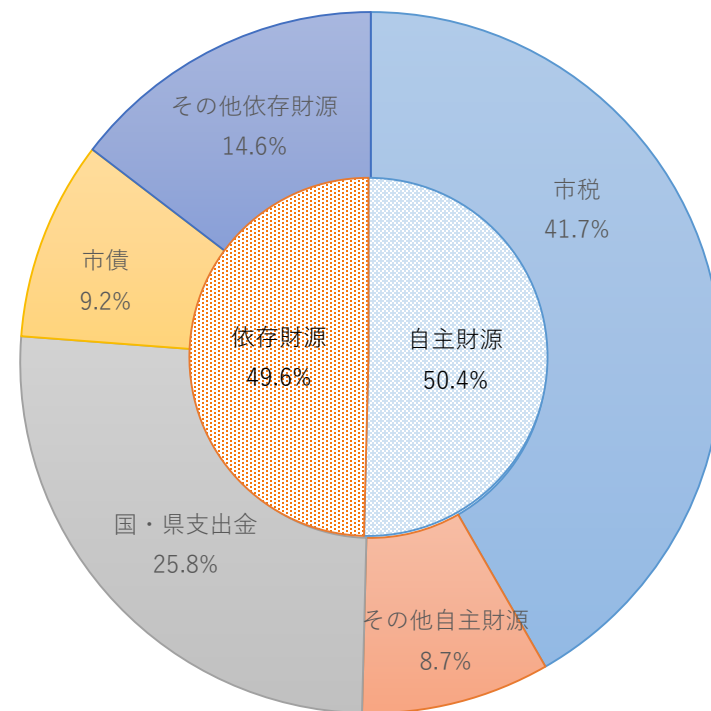
歳入

Q 令和6年度の一般会計の歳入は？

A 一般会計の歳入には、市税や国・県からの支出金、銀行からの借入れや施設の使用料などがあります。

◆一般会計歳入予算

	項目	説明	予算額
自主財源	市税	皆さんに納めていただく税金です。	985億円
	分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて負担をしていただくお金です。	9億100万円
	使用料及び手数料	施設の利用や証明書の発行の際に支払っていただく料金です。	53億8,100万円
	繰入金	各種基金（市の貯金）を取り崩して使うお金です。	58億7,200万円
	その他	寄付金、不動産売払などの財産収入、前年度からの繰越金などです。	83億9,400万円
依存財源	国・県支出金	国（県）から特定の事務事業に対して交付されるものです。	608億8,600万円
	市債	銀行などからの借入（借金）です。	217億7,000万円
	地方交付税	皆さんが国に納めた税金の一部で、地方公共団体の財政状況などに応じて配分されます。	136億円
	譲与税・交付金	地方消費税交付金など、皆さんが国に納めた税金の一部が譲与・交付されるものです。	207億9,600万円
合 計			2,361億円

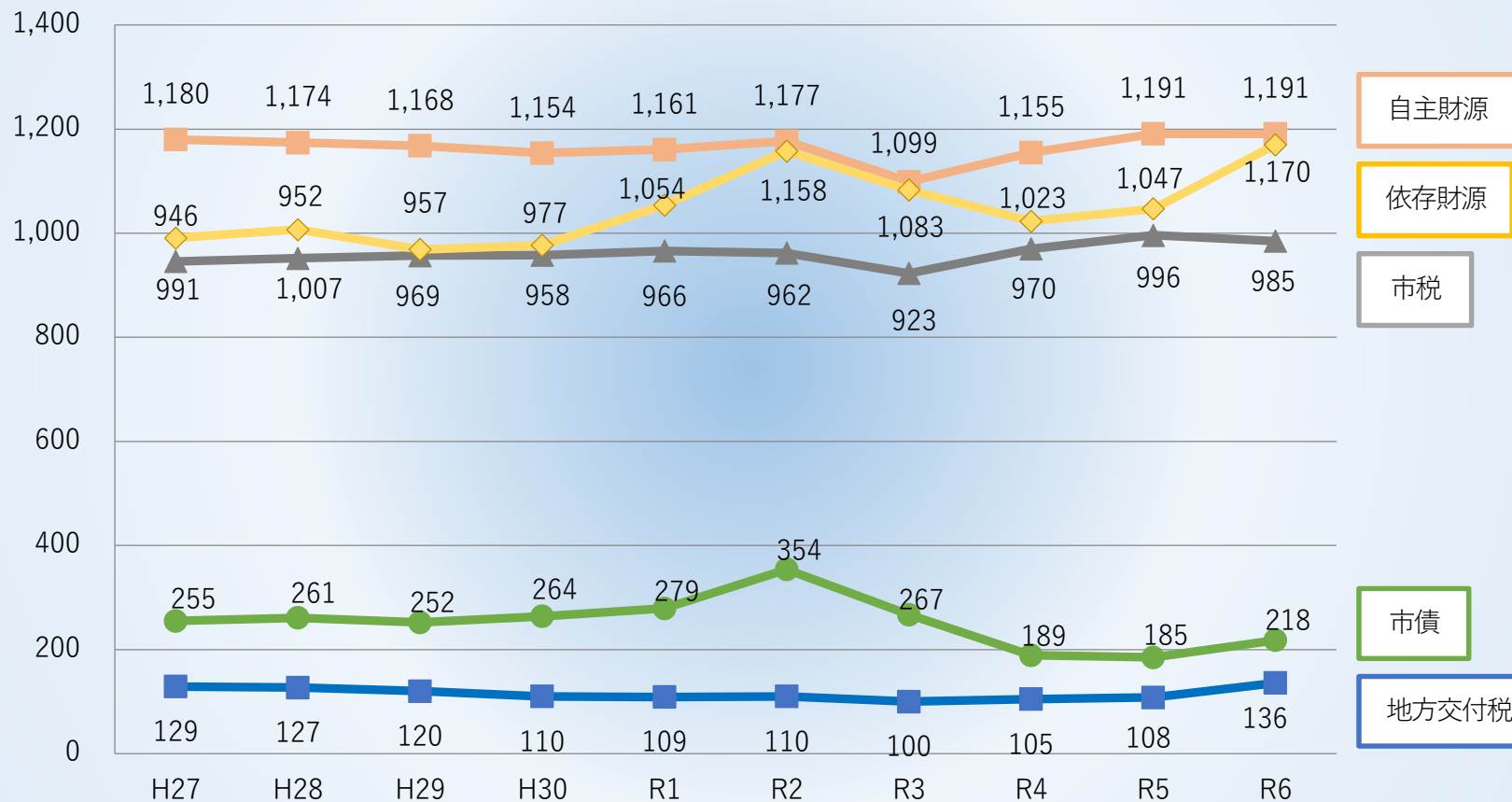


自主財源とは市が自主的に収入できる市税や分担金、負担金、手数料などです。**依存財源**とは国や県から交付されたり割り当てられたりする財源や市債などです。

自主財源の割合が高いほど、自主的・安定的な行政サービスを行うことができます。

参考
一般会計歳入予算の推移

(単位：億円)

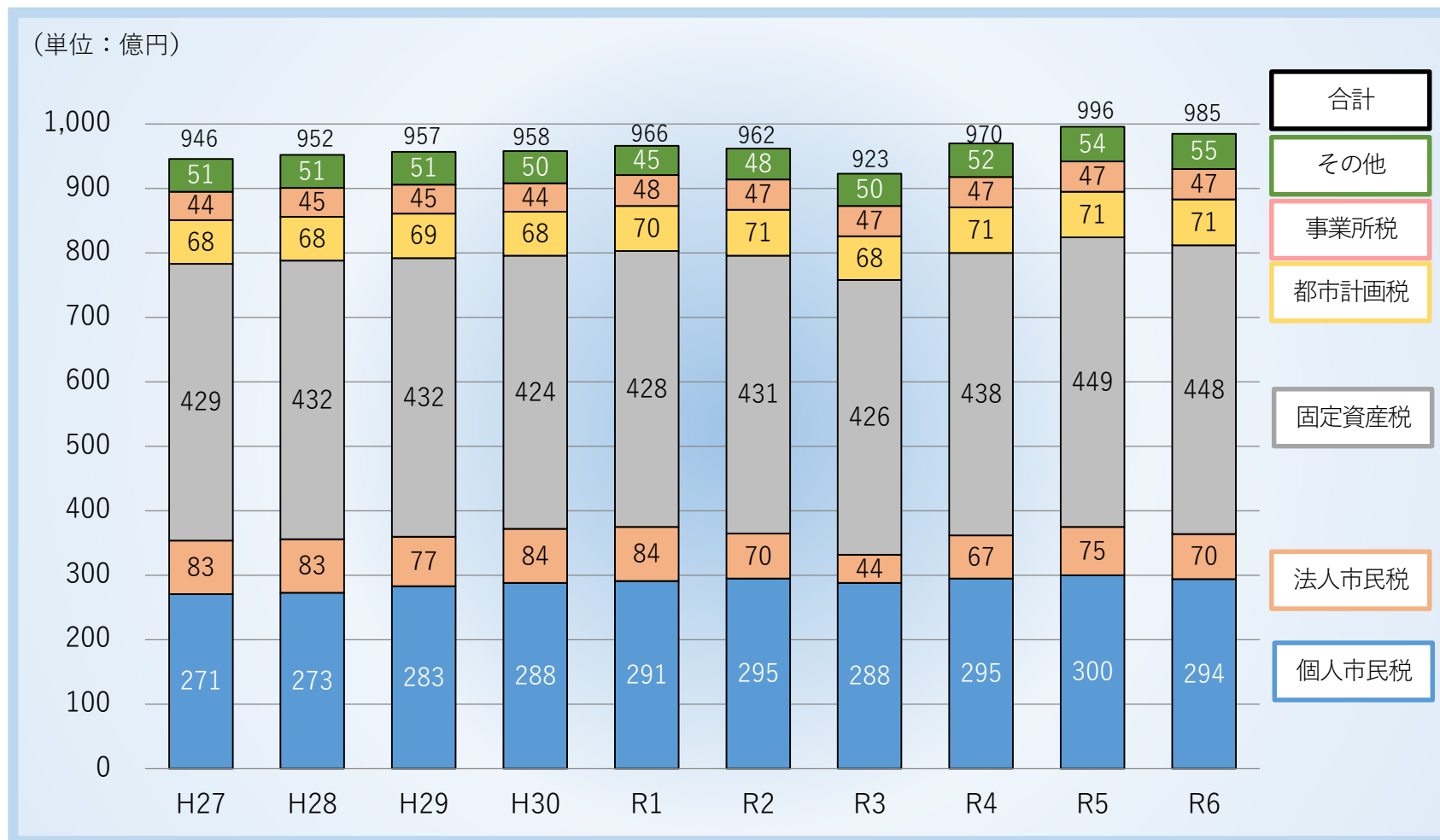


Q 市税にはどのようなものがありますか？

A 姫路市に入る市税は次のとおりです。
 令和6年度は、定額減税の実施に伴う個人市民税の減や企業収益の減等による法人市民税の減に加え、家屋の評価替えに伴う固定資産税の減等により、全体では11億円の減を見込んでいます。

税 目	説 明	予算額
個人市民税	市民の方が給与などの所得に応じて納める税のことです。	293億4,700万円
法人市民税	姫路市内の会社が収益などに応じて納める税のことです。	70億3,400万円
固定資産税	土地や家屋などを所有している方が納める税のことです。	448億1,200万円
軽自動車税	軽自動車などを持っている方が納める税のことです。	15億5,300万円
市たばこ税	たばこを買った方が納める税のことです。	39億1,500万円
入湯税	鉱泉浴場における入湯に対して入湯客が納める税のことです。	3,800万円
事業所税	市内の一定規模以上の会社が納める税のことです。	47億3,300万円
都市計画税	市街化区域に土地や建物を持っている方が納める税のことです。	70億6,800万円
合 計		985億円

参考 主な市税収入の推移



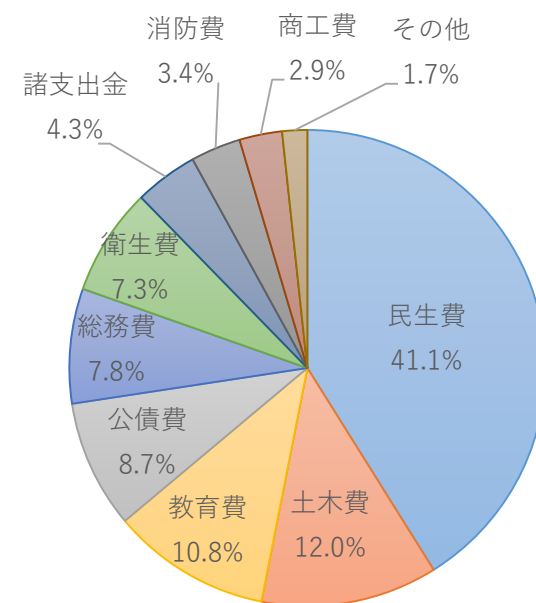
歳出

Q どんな分野の歳出がありますか？

A 一般会計の歳出はその行政目的によって、民生費、土木費、教育費などの分野に分けて支出します。令和6年度は、元金償還金の減により公債費が減少する一方で、児童手当等の拡充による増や手柄山中央公園再整備等により民生費、土木費が増加しています。

◆一般会計歳出予算（目的別）

項目	説明	予算額
議会費	市議会の運営に必要な経費です。	10億1,400万円
総務費	庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の収納などの経費です。	185億1,700万円
民生費	社会福祉や児童福祉などの経費です。	971億2,100万円
衛生費	医療や環境保全などの経費です。	172億2,600万円
労働費	勤労者などの支援のための経費です。	2億2,800万円
農林水産業費	農林水産業の振興や農林整備などの経費です。	26億1,400万円
商工費	商工業や観光の振興などの経費です。	68億2,300万円
土木費	道路や河川、公園などを整備するための経費です。	283億1,700万円
消防費	消防や火災予防などの災害対策のための経費です。	79億3,100万円
教育費	学校教育やスポーツ振興などの経費です。	254億4,400万円
公債費	市債（借金）やその利子を支払うための経費です。	204億9,200万円
諸支出金	他の支出科目に含まれない経費です。	101億7,300万円
予備費	緊急の支出に充てるために必要な経費です。	2億円
合計		2,361億円



Q 歳出を性質別に分けるとどうなりますか？

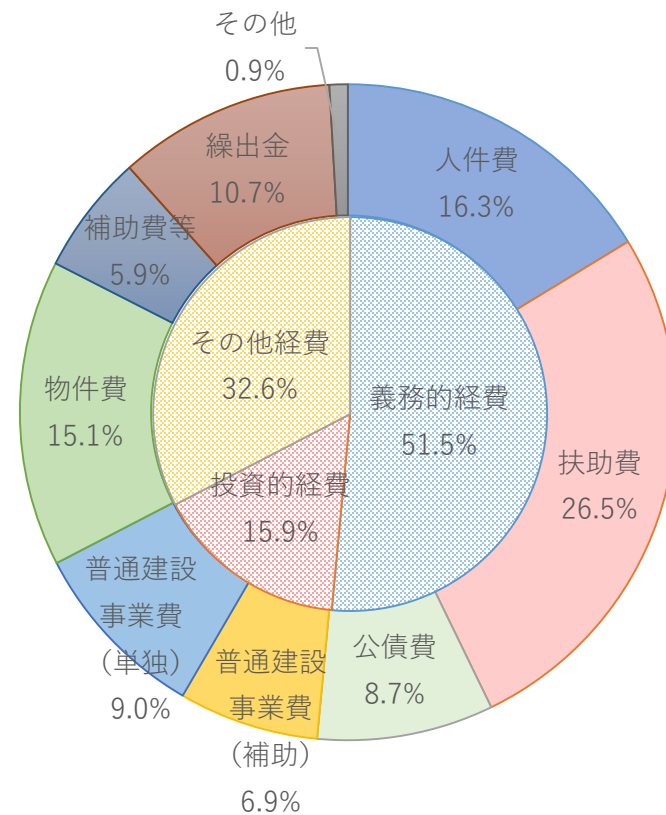
A 歳出を人件費、扶助費、普通建設事業費など、支出の性質により区分することで、姫路市の現在の状況を知ることができます。

必ず支出しなければならない人件費、扶助費、公債費は義務的経費と言い、これらの経費の予算に占める割合が大きくなると財政構造が硬直化し、新たな財政需要への対応が困難になります。

令和6年度は、義務的経費・投資的経費がともに増加し、過去最大の規模となりました。

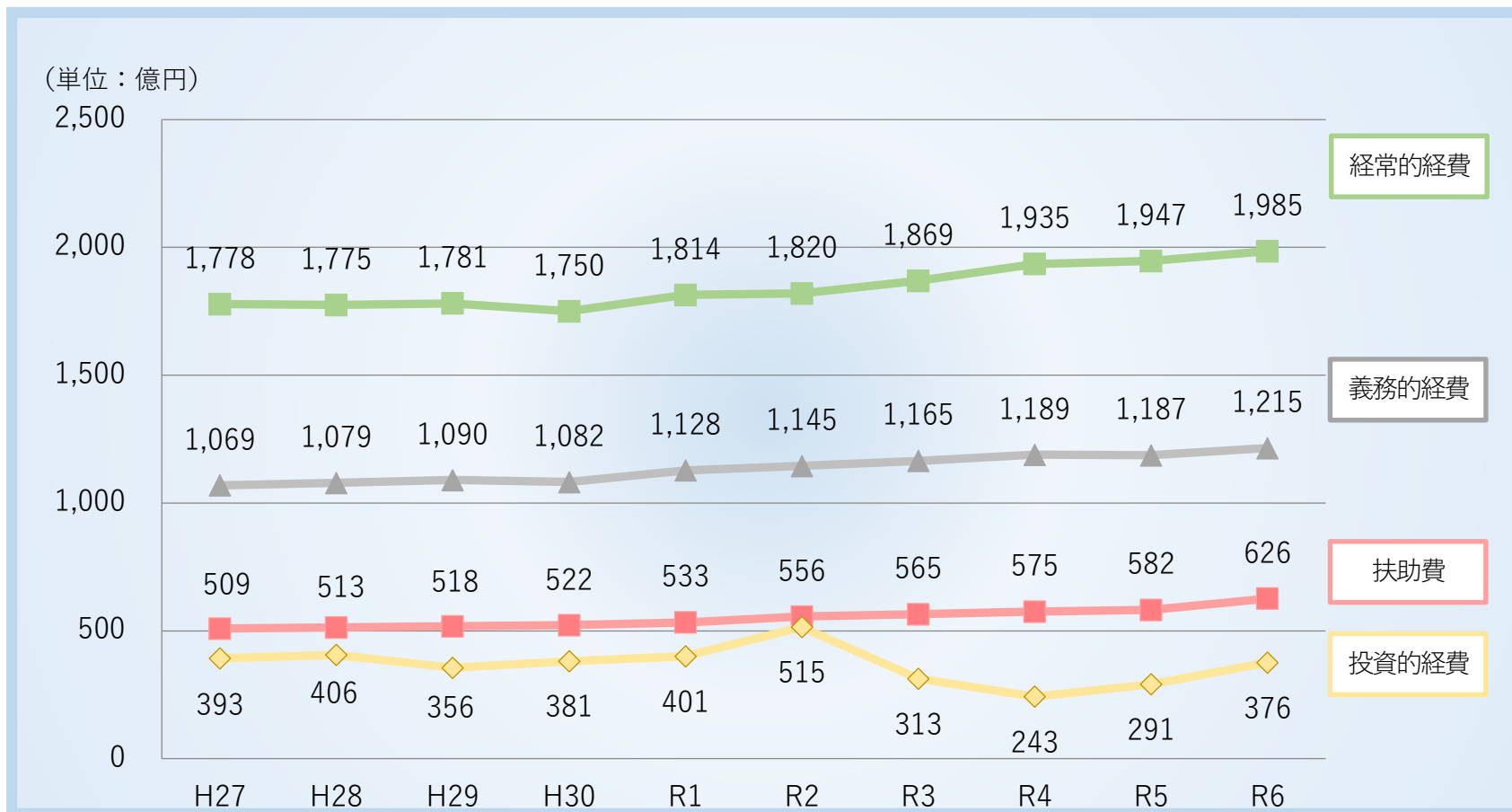
◆一般会計歳出予算（性質別）

義務的経費	1,215億900万円	
人件費	383億6,700万円	人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」といいます。これらの費用は毎年必ず支出しなければなりません。
扶助費	626億5,400万円	
公債費	204億8,800万円	
投資的経費	375億7,000万円	
普通建設事業費（補助）	162億300万円	道路や学校などの建設や大規模改修など都市基盤の整備にかかる費用です。
普通建設事業費（単独）	213億6,700万円	
その他の経費	770億2,100万円	
物件費	355億9,100万円	光熱水費や消耗品費などを含む物件費、施設の維持管理のための維持補修費などがあります。繰出金は一般会計から特別会計などへ支出する経費です。
維持補修費	14億1,900万円	
補助費等	140億6,600万円	
貸付金	2億6,000万円	
積立金	2億8,000万円	
繰出金	252億500万円	
予備費	2億円	



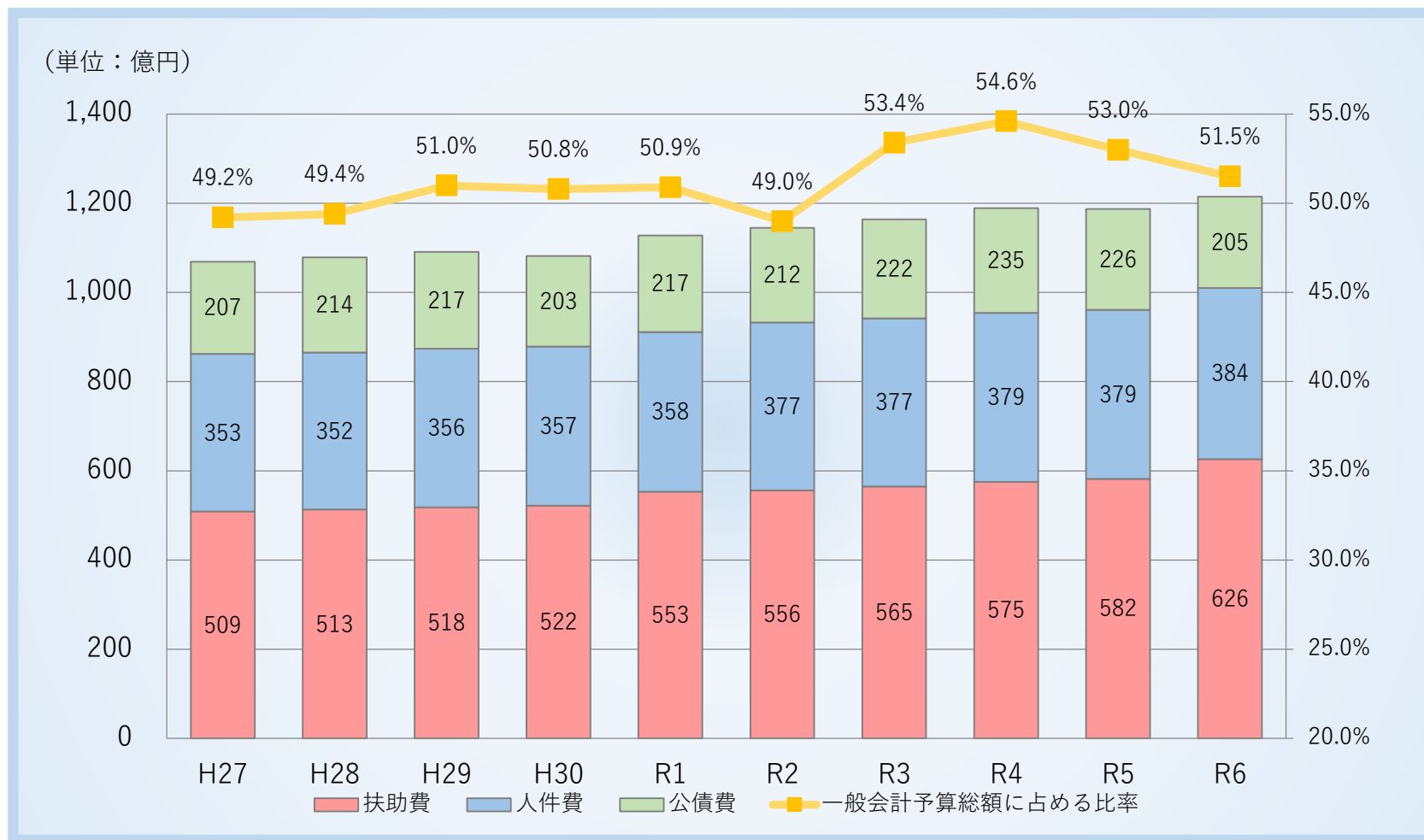
参考

一般会計歳出予算（性質別）の推移



性質別歳出は**経常的経費**（毎年度連続して固定的に支出される経費）と**投資的経費**に分けられます。
 経常的経費のうち支出が義務づけられ、任意に削減することができない経費を**義務的経費**といいます。

参考 義務的経費の推移



Q 市民1人あたり、いくら使われていますか？

A 姫路市の一般会計予算額2,361億円を市民1人あたりに換算すると約45万円になります。これらは、子育て支援や福祉、まちづくり、教育、ごみ処理、消防といったさまざまな分野に使われています。

市民1人あたり 予算額合計 448,959円

①社会福祉、子育てや生活扶助などに（民生費）



184,681円 (+11,248円)

②道路、公園、住宅の建設・管理などに（土木費）



53,847円 (+9,484円)

③学校、幼稚園、社会教育などに（教育費）



48,382円 (+7,120円)

④市債やその利子などの支払いに（公債費）



38,967円 (△3,866円)

⑤市役所の管理運営、広報などに（総務費）



35,212円 (+2,258円)

⑥保健衛生やごみ・し尿の処理などに（衛生費）



32,757円 (△727円)

⑦商業や工業、観光の振興などに（商工費）



12,974円 (+757円)

⑧その他の目的に（消防費、農林水産業費等）



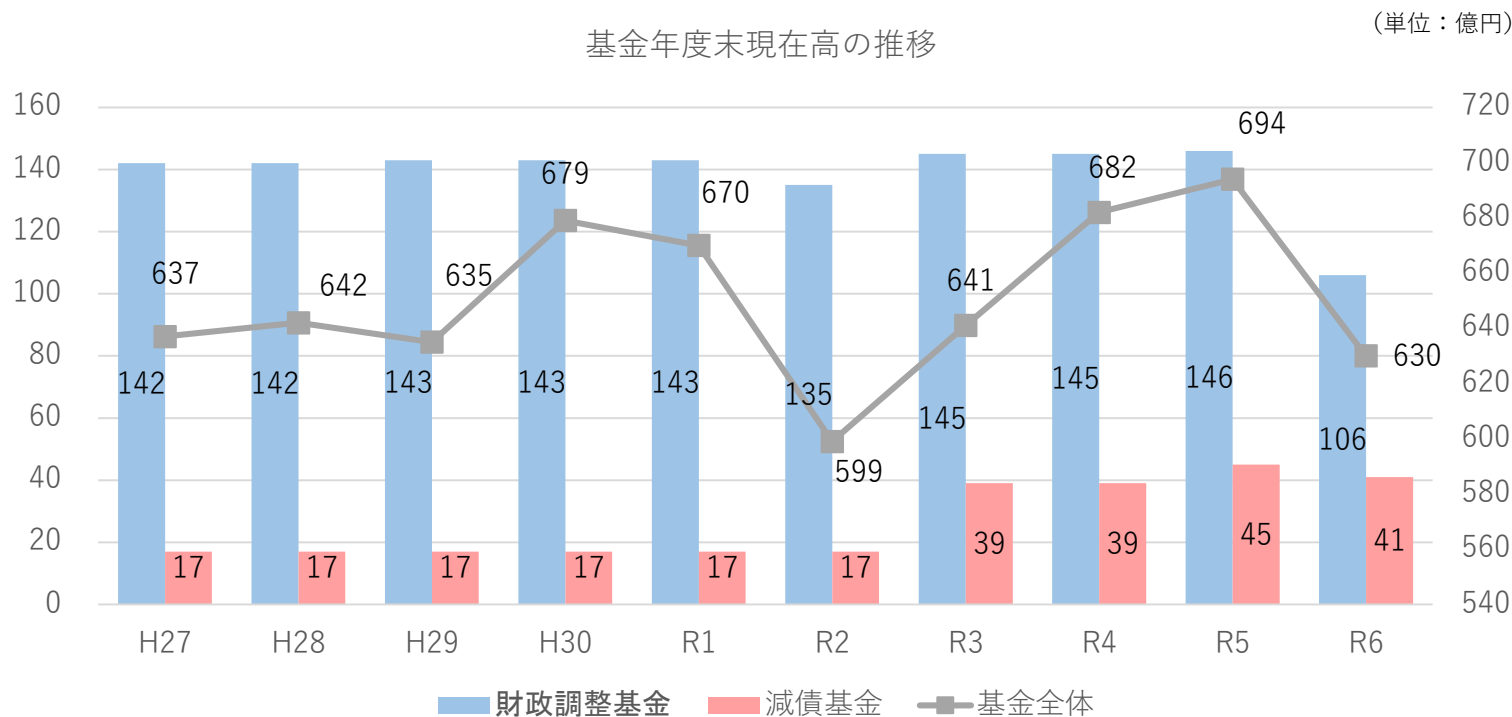
42,139円 (△810円)

※()内は、前年度からの増減額です。なお、1人あたりの数値は令和6年1月1日現在の人口525,884人を基礎としています。

基金と市債

Q 姫路市の基金（貯金）は？

A 基金は特定の目的のために資金を積み立てる特定目的基金（20基金）と定額の資金を運用するための定額運用基金（2基金）を設けています。
 姫路市の全会計基金残高（令和6年度末見込）は630億円で、前年度と比べると63億7,000万円の減となっています。これは収支不足に対する財源措置として財政調整基金を取り崩すなどを行うためです。

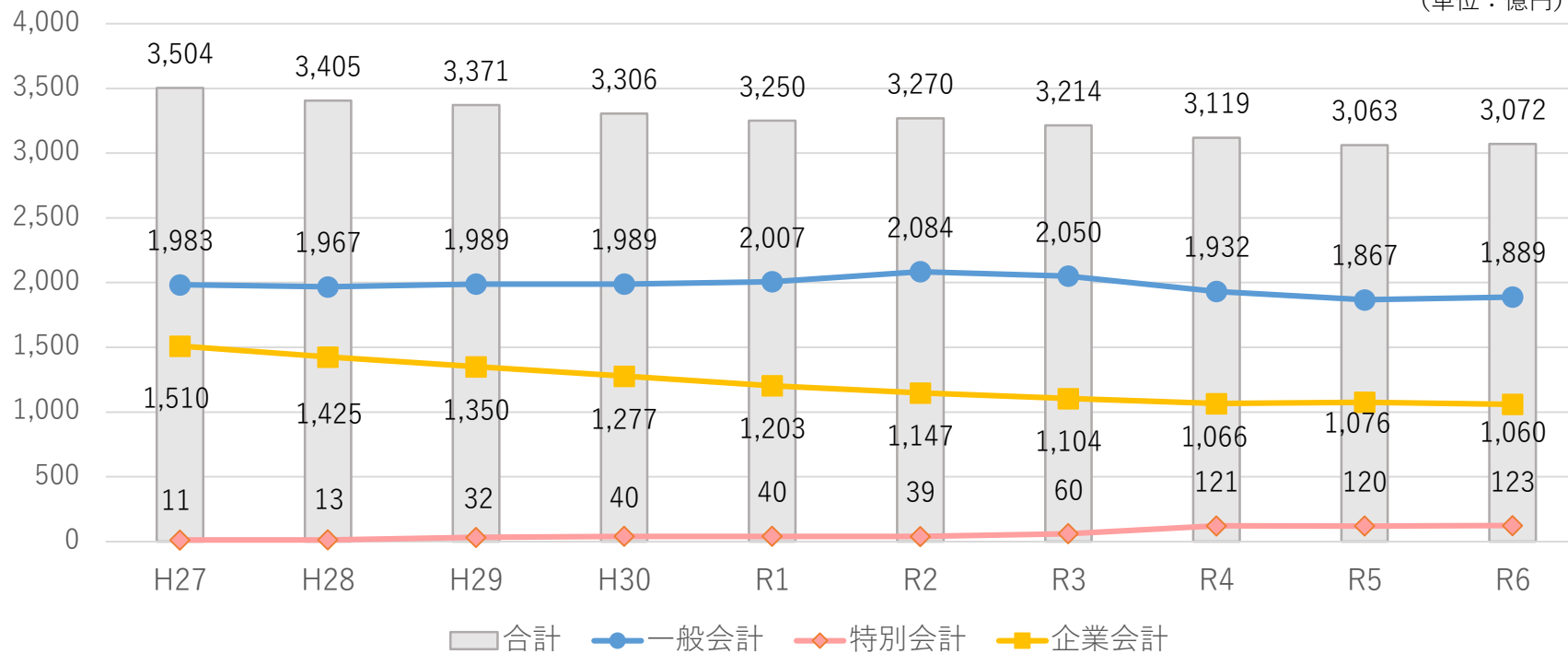


Q 姫路市の市債（借金）は？

A 全会計の市債残高（令和6年度末見込）は3,071億9,300万円で、前年度と比べると9億3,800万円の増になっています。
 これは、手柄山中央公園再整備や学校施設の整備等により、一般会計における市債借入額が増加するなどによるものです。

会計別地方債年度末現在高の推移

（単位：億円）



【資料編】

全国の中核市と比較してみた。

令和6年度（2024年度）の姫路市の一般会計予算について、

市民一人あたりの金額が、全国の中核市の中でどのくらいの順位なのか、比較してみました。

※令和6年3月現在の全国の中核市は62市ですが、本資料では暫定予算の前橋市を除いた61市で比較を行っています。

次ページから、主な項目について他の中核市と比較することで姫路市の状況を確認していきます。

資料編の作成にあたっては、

- 令和6年度予算額は中核市市長会資料（令和6年3月現在）による速報値を使用しています。
- 人口は令和6年1月1日現在の住民基本台帳人口を採用しています。（姫路市：525,884人）
- 数値は表示単位の小数点以下を四捨五入をしています。
- 一般会計とは教育や福祉、公共施設の整備、市役所の運営など、市民の皆様にとって身近なことに使われる予算のことです。

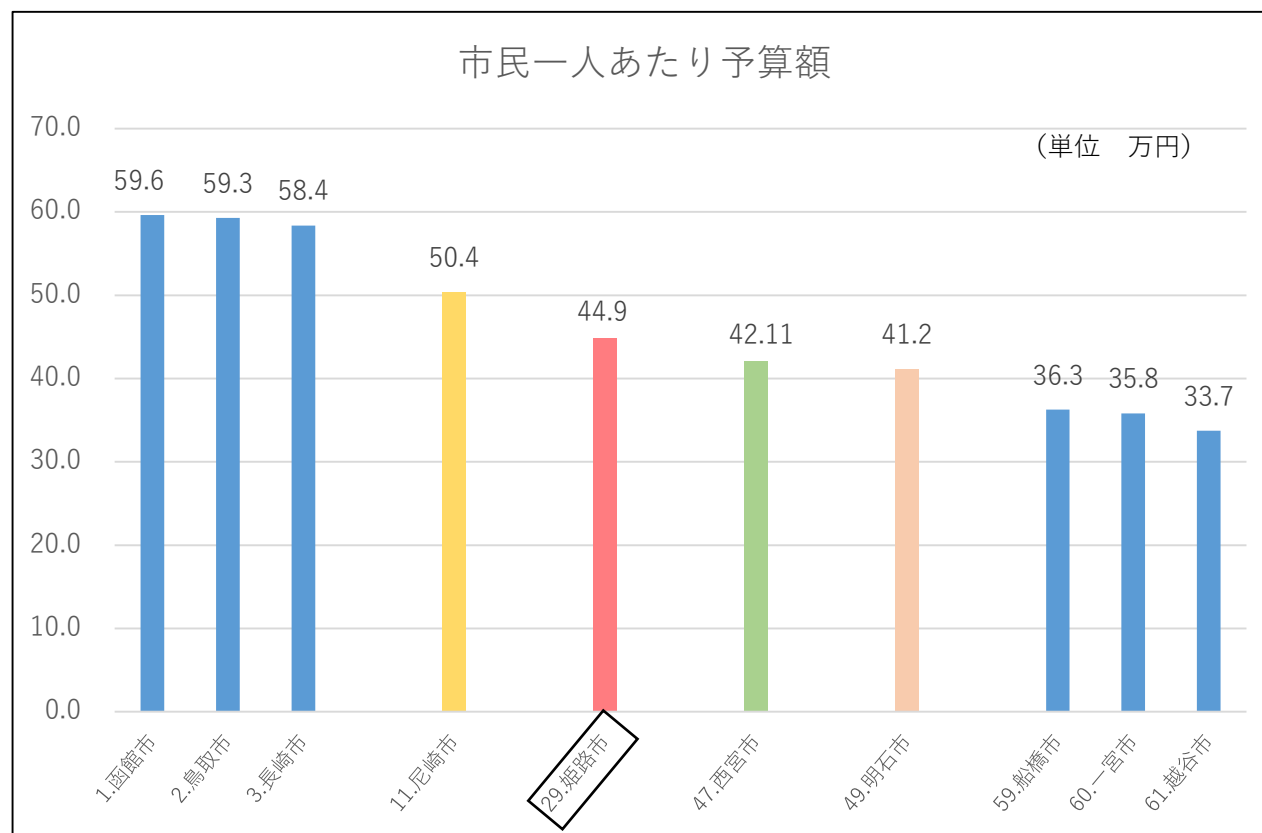
市民一人あたり 予算額

令和6年度（2024年度）の姫路市予算（一般会計）の市民一人あたりの金額は**約44万9千円**です。

中核市61市の中では**第29位**となっており、平均的な水準となっています。

一般会計予算額

1位	函館市	59万6千円
2位	鳥取市	59万3千円
3位	長崎市	58万4千円
11位	尼崎市	50万4千円
29位	姫路市	44万9千円
47位	西宮市	42万1,100円
49位	明石市	41万2千円
59位	船橋市	36万3千円
60位	一宮市	35万8千円
61位	越谷市	33万7千円



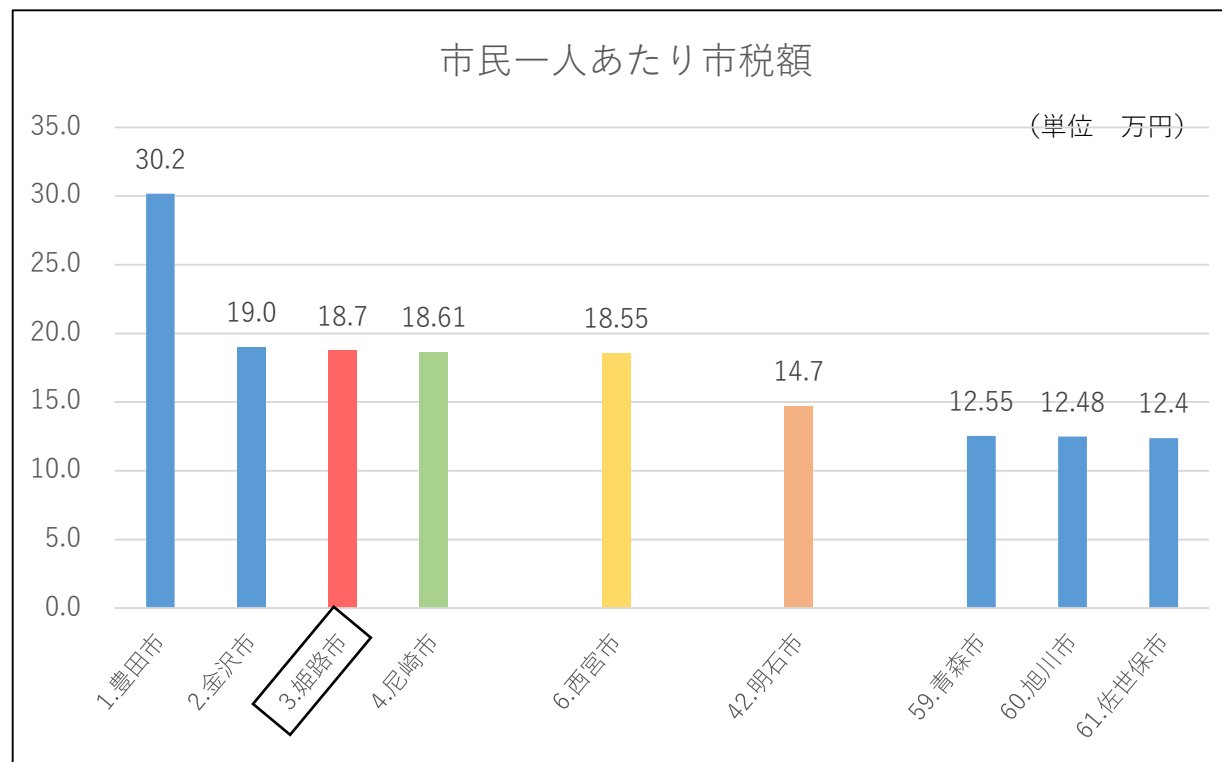
市民一人あたり歳入 市税

市税は、市民税（個人・法人）、固定資産税（土地・家屋・償却資産）、軽自動車税、市たばこ税などがあります。

令和6年度の市税の市民一人あたりの金額は**約18万7千円**で、中核市61市中**第3位**となっています。

海岸部の製造業をはじめとする会社への償却資産に対する課税が多いことが特徴です。

市税予算額		
1位	豊田市	30万2千円
2位	金沢市	19万円
3位	姫路市	18万7千円
4位	尼崎市	18万6,100円
6位	西宮市	18万5,500円
42位	明石市	14万7千円
59位	青森市	12万5,500円
60位	旭川市	12万4,800円
61位	佐世保市	12万4千円



市民一人あたり歳入 地方交付税

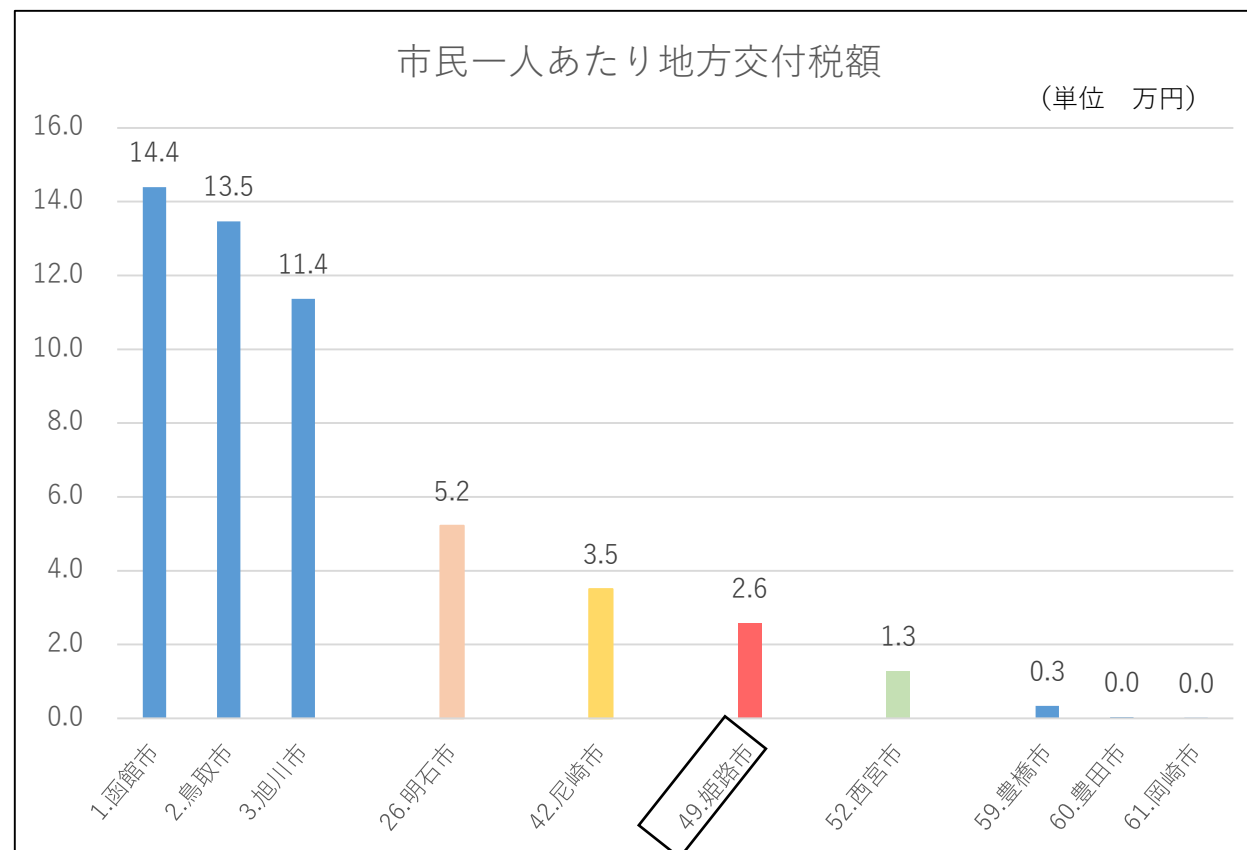
普通交付税は、全国的に一定の行政サービスを提供するため、市税の豊かな市には少なく、市税の少ない市には多く交付される仕組みです。

特別交付税は、災害対応など臨時的な支出に対して交付されます。

令和6年度の地方交付税の市民一人あたりの金額は**約2万6千円**となっており、中核市61市中**第49位**で、平均よりも低い水準となっています。

地方交付税予算額

1位	函館市	14万4千円
2位	鳥取市	13万5千円
3位	旭川市	11万4千円
26位	明石市	5万2千円
42位	尼崎市	3万5千円
49位	姫路市	2万6千円
52位	西宮市	1万3千円
59位	豊橋市	3千円
60位	豊田市	0円
61位	岡崎市	0円



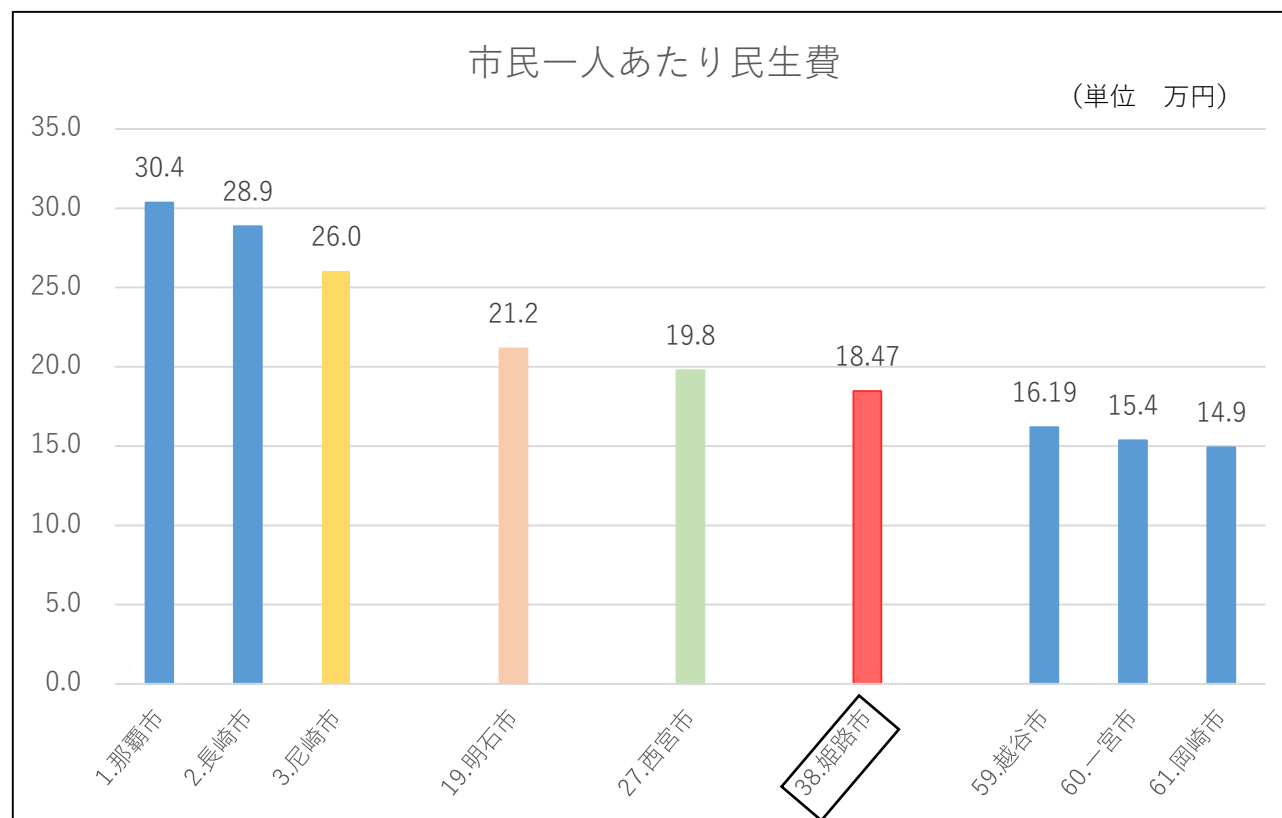
市民一人あたり歳出
(目的別分類)
民生費

一般会計の歳出はその行政目的によって、民生費、土木費、教育費などに分類されます。(目的別分類)

民生費とは、障害者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所、生活保護などの経費です。

令和6年度の姫路市の市民一人あたりの民生費は**約18万4,700円**で、中核市61市中**第38位**となっており、平均よりやや低い水準となっています。

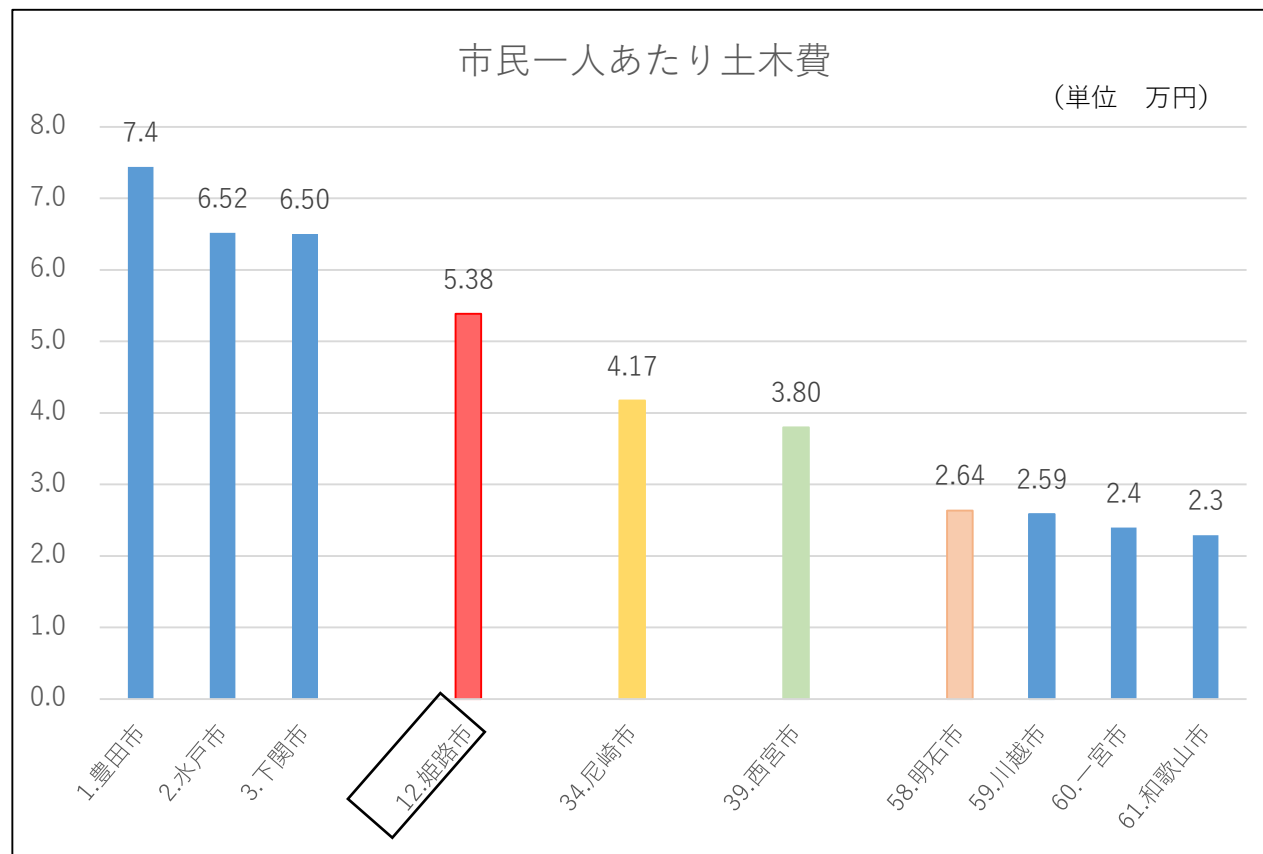
民生費予算額		
1位	那覇市	30万4千円
2位	長崎市	28万9千円
3位	尼崎市	26万円
19位	明石市	21万2千円
27位	西宮市	19万8千円
38位	姫路市	18万4,700円
59位	越谷市	16万1,900円
60位	一宮市	15万4千円
61位	岡崎市	14万9千円



市民一人あたり歳出
(目的別分類)
土木費

土木費とは、道路や河川、公園などを整備するための経費です。
令和6年度の姫路市の市民一人あたりの土木費は**約5万3,800円**となっており、中核市61市中**第12位**で、平均より高い水準となっています。

土木費予算額		
1位	豊田市	7万4千円
2位	水戸市	6万5,200円
3位	下関市	6万5千円
12位	姫路市	5万3,800円
34位	尼崎市	4万1,700円
39位	西宮市	3万8千円
58位	明石市	2万6,400円
59位	川越市	2万5,900円
60位	一宮市	2万4千円
61位	和歌山市	2万3千円



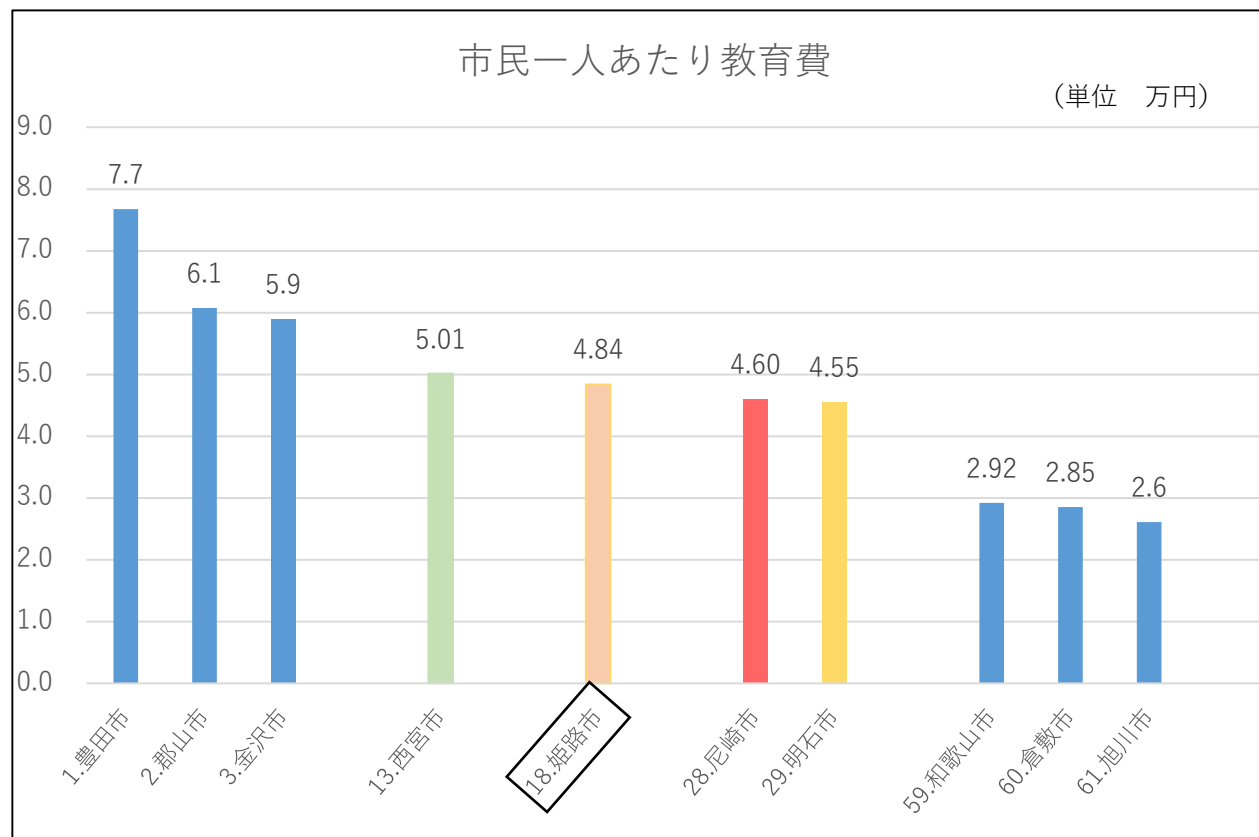
市民一人あたり歳出
(目的別分類)
教育費

教育費とは、学校教育やスポーツ振興などの経費です。

令和6年度の姫路市の市民一人あたりの教育費は**約4万8,400円**となっており、中核市61市中**第18位**で、平均的な水準となっています。

教育費予算額

1位	豊田市	7万7千円
2位	郡山市	6万1千円
3位	金沢市	5万9千円
13位	西宮市	5万100円
18位	姫路市	4万8,400円
28位	尼崎市	4万6千円
29位	明石市	4万5,500円
59位	和歌山市	2万9,200円
60位	倉敷市	2万8,500円
61位	旭川市	2万6千円



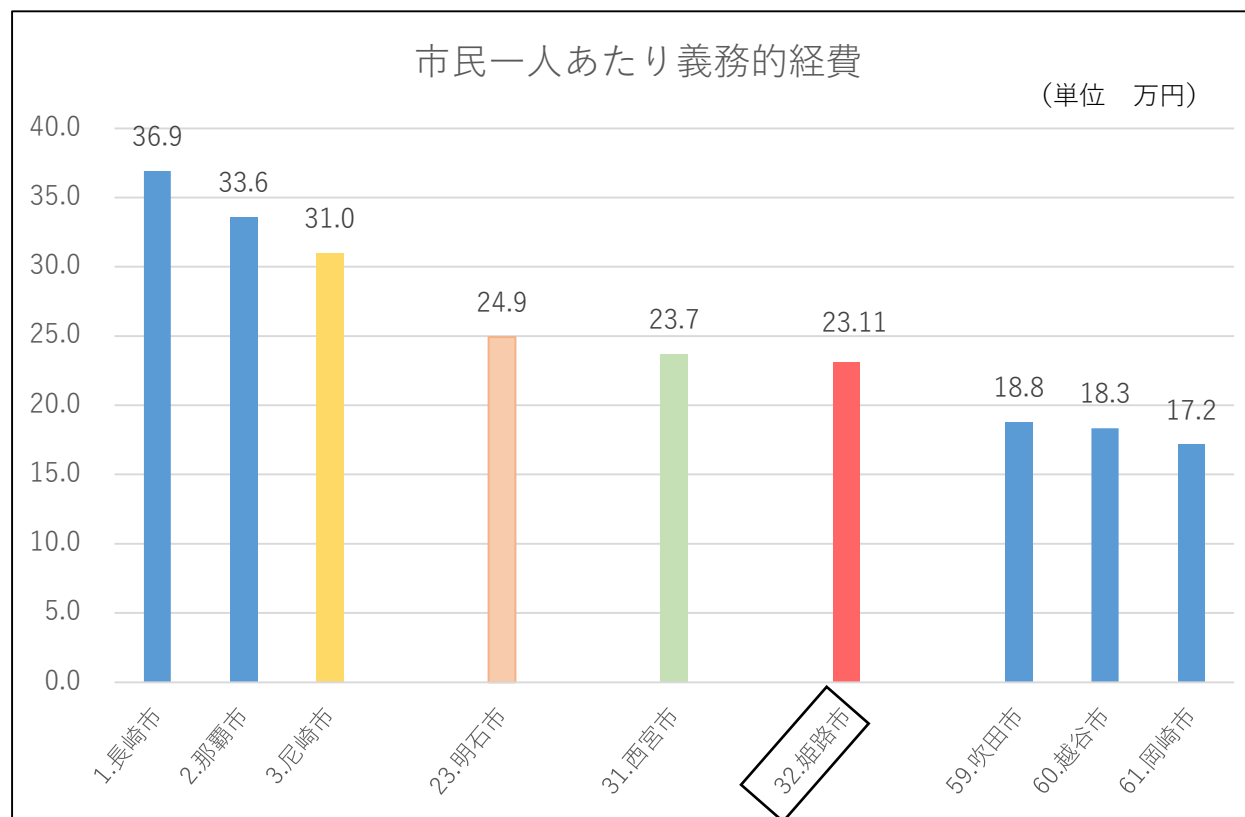
市民一人あたり歳出
(性質別分類)
義務的経費

歳出を人件費、扶助費、普通建設事業費など、支出の性質により区分することができます。(性質別分類)

義務的経費とは性質別分類のうち、その支出が義務付けられ、任意に削減することができない人件費、扶助費、公債費のことです。

令和6年度の姫路市の市民一人あたりの義務的経費は約**23万1千円**となっており、中核市61市中**第32位**で、平均的な水準となっています。

義務的経費予算額		
1位	長崎市	36万9千円
2位	那覇市	33万6千円
3位	尼崎市	31万円
23位	明石市	24万9千円
31位	西宮市	23万7千円
32位	姫路市	23万1,100円
59位	吹田市	18万8千円
60位	越谷市	18万3千円
61位	岡崎市	17万2千円



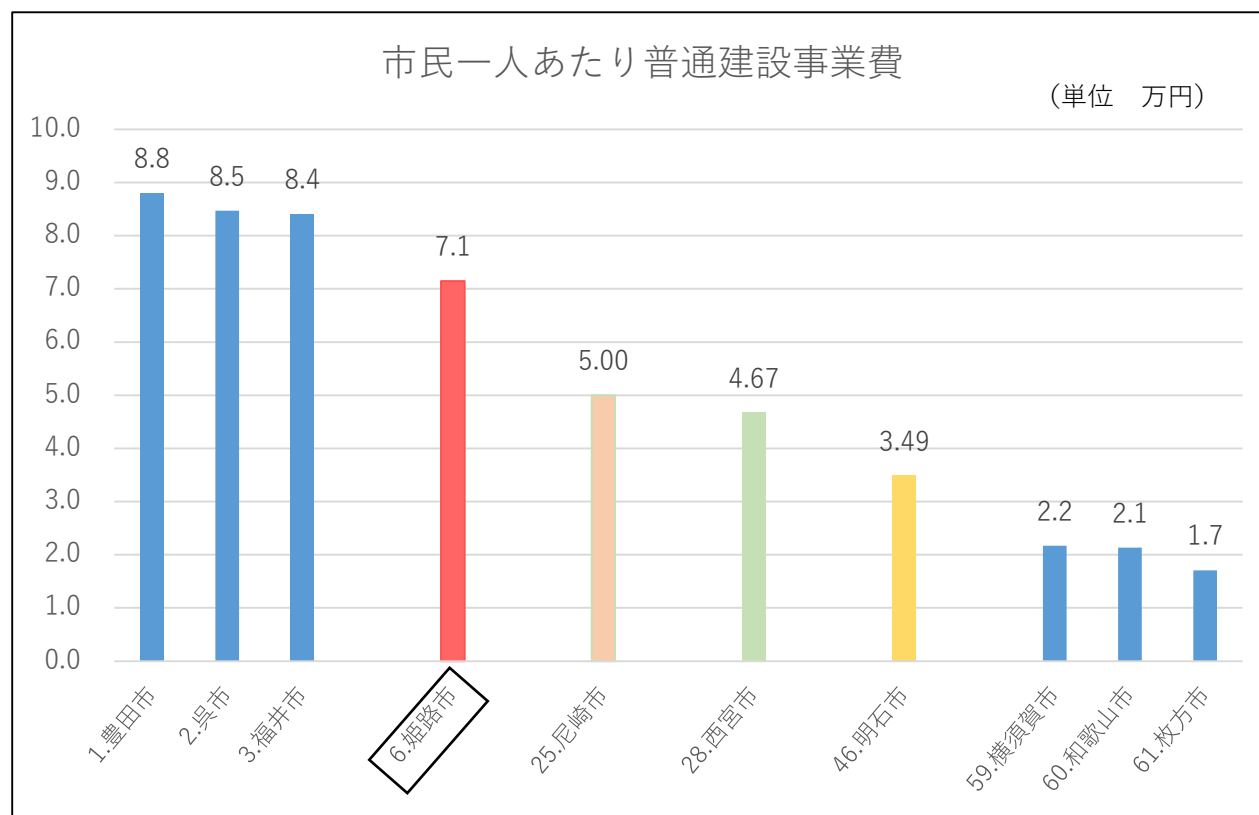
市民一人あたり歳出
(性質別分類)
普通建設事業費

普通建設事業費とは、市民の皆さんに身近な道路・橋りょう、学校、庁舎などの整備に必要な経費のことです。

令和6年度の姫路市の市民一人あたりの普通建設事業費は**約7万1千円**となっており、中核市61市中**第6位**で、中核市平均を上回っています。

普通建設事業費予算額

1位	豊田市	8万8千円
2位	呉市	8万5千円
3位	福井市	8万4千円
6位	姫路市	7万1千円
25位	尼崎市	5万円
28位	西宮市	4万6,700円
46位	明石市	3万4,900円
59位	横須賀市	2万2千円
60位	和歌山市	2万1千円
61位	枚方市	1万7千円

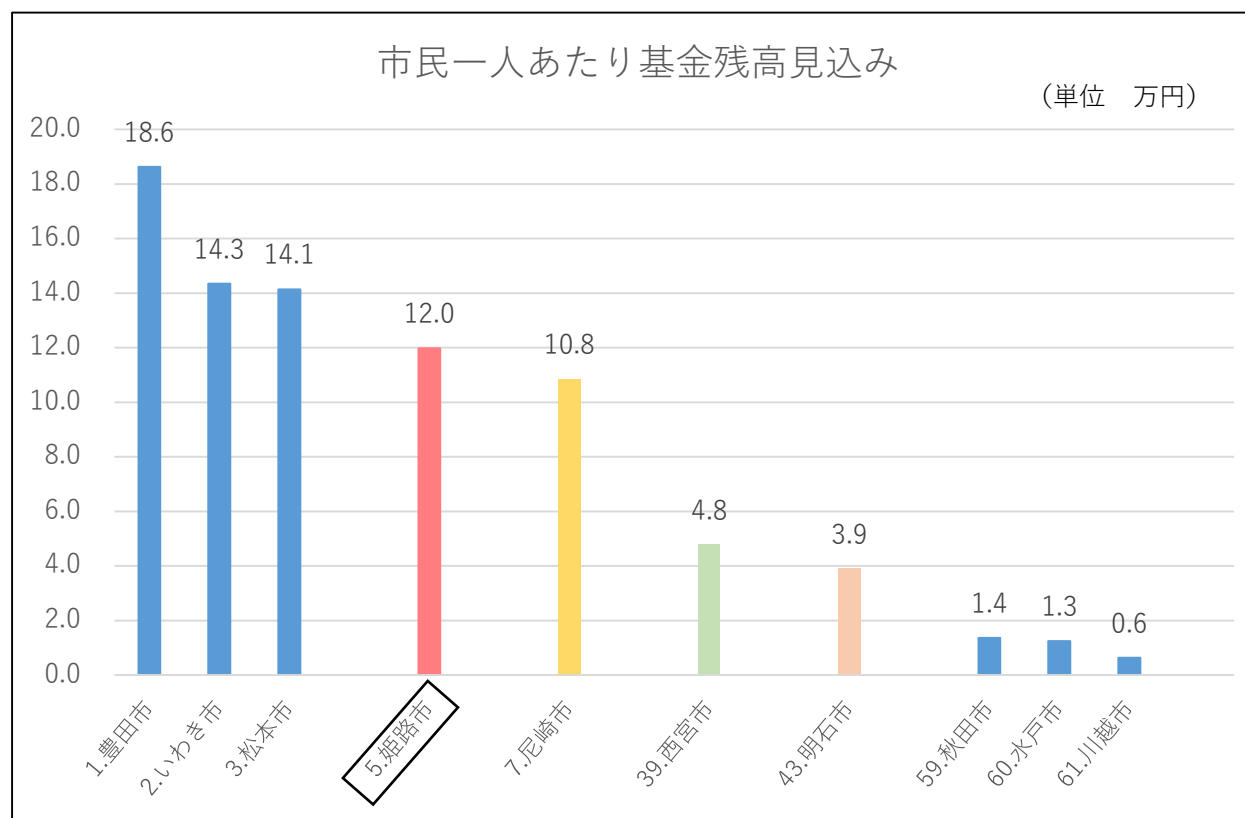


市民一人あたり 基金残高(一般会計)

基金は特定の目的や財源不足を補うために設けているものです。
令和6年度末見込みの姫路市の市民一人あたりの基金残高は**約12万円**となっており、中核市61市中**第5位**で、中核市平均を上回っています。

基金残高見込み額

1位	豊田市	18万6千円
2位	いわき市	14万3千円
3位	松本市	14万1千円
5位	姫路市	12万円
7位	尼崎市	10万8千円
39位	西宮市	4万8千円
43位	明石市	3万9千円
59位	秋田市	1万4千円
60位	水戸市	1万3千円
61位	川越市	6千円



市民一人あたり 市債残高(一般会計)

市債残高見込み額

1位	長崎市	65万6千円
2位	高知市	62万7千円
3位	鳥取市	61万9千円
32位	尼崎市	37万4千円
35位	姫路市	35万9千円
36位	明石市	35万8千円
50位	西宮市	26万7千円
59位	岡崎市	14万3千円
60位	高槻市	10万9千円
61位	豊田市	9万5千円

市債とは、年度を超えて借り入れる借金のことです。学校や道路など公共施設の建設に必要な費用を、その年度の収入だけでなく、お金を借りて賄っています。これらの施設は長期にわたり使用するため、借金を後年度に返済することで、将来の市民にも公平に負担してもらうことができます。

令和6年度末見込みの姫路市の市民一人あたりの市債残高は**約35万9千円**となっており、中核市61市中**第35位**で、平均的な水準となっています。

